

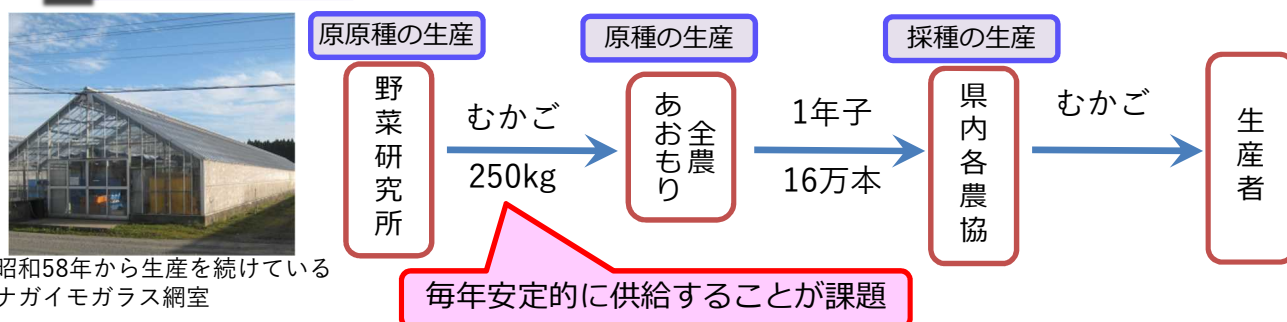
ナガイモむかごの増収技術試験について

野菜研究所

本県のナガイモは国内有数の生産量を誇っています。ナガイモはウイルス病に冒されると収量が低下するため、野菜研究所ではウイルスに感染していないウイルスフリー種苗をむかごの形態で生産・供給しています。

現在、ウイルスフリー種苗の増産が要望されており、野菜研究所では、むかご生産量の増収を図るための試験に取り組んでいます。今回はその内容についてご紹介します。

ナガイモウイルスフリー種苗生産・供給のながれ



昭和58年から生産を続けているナガイモガラス網室

むかご増収試験の取り組み

下記の4つの処理について、むかご増収効果を確認しています。

反射シートの利用



ネオポリシャイン設置網室の生育終期の様子

電照の利用



LED照射ハウスの生育終期の様子

催芽切いもの利用



生育初期の様子 (左：無処理区、右：催芽区)

マルチの利用



マルチ区の生育終期の様子

今後の予定

1月中に試験結果をとりまとめ、その結果については、本研究所成果発表会等で公表する予定です。

お問い合わせ 野菜研究所 品種開発部 (Tel 0176-53-7171)